

竪穴式住居跡

たてあなしきじゆうきよ  
これが竪穴式住居なのだ！



古墳時代こふんじだい（1800年前〜1400年前）  
柿田遺跡かきぎ た い せき  
渡来人とらいじんの住んだムラか!?



からかまど  
韓竈

柿田遺跡は長浜市東上坂にある遺跡です。古墳時代の住居の跡や、古墳のほか、7世紀（1300年前）ごろの寺院に関連する遺物等も発見されました。

右上の写真の竈は「韓竈」という形の竈で朝鮮半島との関連がうかがえる遺物のひとつです。他にも瓦などからも朝鮮半島の影響を受けていたことがわかります。

それぞれの竪穴式住居からは竈や甑など、食生活に関する土器が見つかっており、当時の生活の様子がよくわかります。

# 古墳とまつりの土器

こふん そな  
古墳のお供え  
に使ったのだ!



須恵器の壺



器台

左の写真は須恵器の壺と器台です。壺には「鳥足文」という文様が刻まれており、全体的にボールのように丸いことが特徴です。

器台は壺などを乗せる台で、上の写真のように底が丸い壺が倒れないように固定するためのものです。この器台には全体に文様が刻まれ、三角形の透かし孔で飾られています。また、古墳の周囲の溝から出土したことから、古墳でのまつりで使われた土器と考えられています。

## ◆ 古墳群

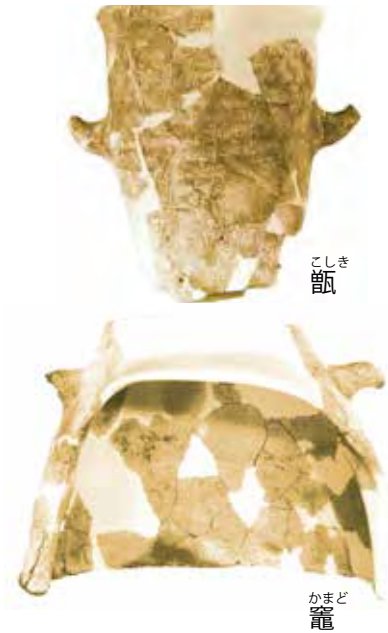


古墳群の跡

柿田遺跡からも古墳の跡が見つかっています。

墳丘の部分は後から削られてなくなってしまいましたが、丸く掘られた溝が残っています。柿田遺跡の集落のリーダーのお墓だったと考えられます。

# 米を炊いた道具



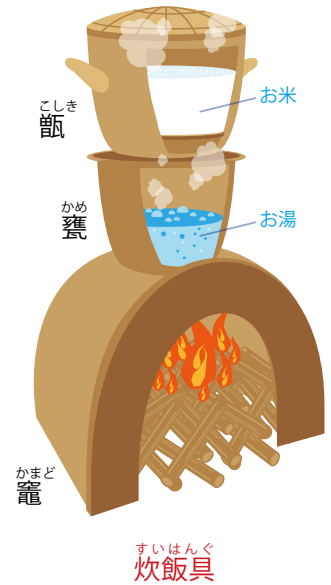
こしき  
甑

かまど  
竈

左の写真は、<sup>こしき かまど</sup>甑と竈というもので米などを蒸すための道具です。下の<sup>かまど</sup>竈で火を燃やして湯を沸かし、上の<sup>こしき すいじょうき</sup>甑に水蒸気を昇らせることで、米などを蒸して食べられるようにしました。

それまでは米を煮て食べていましたが、1500年前ごろから使われ始め、次第に広まっていきました。

柿田遺跡の住居からは<sup>かめ つぼ</sup>甕や壺、<sup>こしき かまど</sup>甑や竈など、食事にまつわる土器が多数出土しています。



すいはんぐ  
炊飯具

## 古代寺院があった？



じゅうめんものきまるがわら  
獣面文軒丸瓦



のきまるがわら  
様々な軒丸瓦

柿田遺跡からはたくさんの<sup>かわら</sup>瓦も出土しました。瓦は古墳時代より後の時代からつくられ始め、はじめは寺などに使用されました。

今までに行われた発掘調査では、寺そのものの跡は見つかっていませんが、瓦の出土があったことから、付近に寺が<sup>た</sup>建っていたと予想されています。左の写真は「獣面文軒丸瓦」という獣の顔の文様が刻まれた<sup>めずら</sup>珍しい瓦で、朝鮮半島と関係があると考えられています。

寺の建築にあたって朝鮮半島出身の人の技術を使ったのかもしれませんが。

かわら  
てら  
やね  
瓦はお寺の屋根に  
つか  
使われたのです。



時代の移り変わり

コラム

原始時代や古代はその時代の特徴によって下のように分けられます。



**縄文時代**  
狩猟と採集によって生活していました。  
季節や周囲の環境によって移動していました。



**弥生時代**  
稲作が始まりました。一か所に定住し生活していました。  
身分の差がはじまります。大きな戦争が行われはじまります。



**古墳時代**  
身分の差がさらに大きくなります。  
強大な権力を持った豪族が巨大な古墳をつくりました。  
大和（現在の奈良県）の勢力を中心にまとまりはじまります。



**飛鳥・奈良時代**  
律令（法律）によって国を治めることがはじまりました。  
都を中心に一つの国としてまとまりました。仏教が盛んになったのもこのころです。



● 交通アクセス

**公共機関**：JR 北陸本線「長浜駅」下車、長浜市バス「東上坂」下車徒歩 15 分  
車：北陸自動車道「長浜 IC」より 県道 37 号線沿いを東へ約 1 km

● お問い合わせ

ながはましぶんかざいほご  
**長浜市文化財保護センター**  
〒526-0802 滋賀県長浜市東上坂町 981 TEL 0749-64-0395